

2024年度 映文連 技術セミナー (リアル開催)



進化する映像表現とその市場 ～高精細LEDの空間演出と光伝送の最前線～

日時：2025年1月27日（月）15時～17時30分（移動、休憩含む）

場所：トッパン小石川本社ビルB1F&2F

<〒112-0005 東京都文京区水道1丁目3-3>

定員：40名（申込み先着順、満員になり次第締め切ります）

申込方法：別紙申込書に必要事項を記入の上、1月10日（金）までにメールまたはFAXしてください。

申込先：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階

（公社）映像文化製作者連盟（TEL:03-3662-0236/FAX:03-3662-0238/info@eibunren.or.jp）

受講料：会員3,000円、一般3,500円（1名・税込）

主催：公益社団法人 映像文化製作者連盟

進化する映像表現とその市場 ～高精細LEDの空間演出と光伝送の最前線～

スクリーン～テレビ～モニターディスプレイ、タブレットやスマートフォンなど映像デバイスは、大衆娯楽文化からパーソナルデジタル情報端末へと変化し、映像を届けるメディアや技術も、電波・放送～インターネット、そして光ファイバーへと飛躍的な進化が続いています。これに伴って、我々映像製作者のクリエイションも平面での映像表現にとどまらず、3Dやイマーシブ等の空間と融合する表現へと変貌を見せ始めました。さらに、これらの新しい映像技術は、これまでのエンターテインメントの枠組みを超えて、遠隔診療やスマートシティなどの新しい社会に無くてはならない基盤要素として、新たなミッションへと向かっています。

今回のセミナーでは、このような新しい映像表現の市場への導入事例と、その大容量データを展開する光伝送技術について、技術とビジネス創発の視点から、実際の施設見学に加え、専門家のお話を伺う機会を作りました。本セミナーが皆さまの今後のビジネス展開にお役に立てれば幸いです。是非多くの方々のご参加をよろしくお願い申し上げます。 技術委員会 委員長 高橋 隼人

■講義内容■

1) TOPPAN VRの歴史と新たな文化財体感 <見学約45分+セミナー約45分>

【A】 TOPPAN VRの歴史と新たなデジタル文化財体験

- TOPPAN文化事業推進本部の活動内容
TOPPAN VRの歴史（1998年～）
- 失われた文化財のデジタル再現
- デジタル文化財ミュージアム KOISHIKAWA XROSS

【B】 デジタル文化財ミュージアム KOISHIKAWA XROSS施設見学

- 超高精細(16K)LEDカーブビジョンによる文化財VRシアター
- 幻の伊藤若冲作品を復元したイマーシブ映像などデジタル文化財展示

講師：岸上 剛士 氏（TOPPAN株式会社 文化事業推進本部 プロデューサー）

2004年から建築・都市のビジュアルライゼーションを得意とするベンチャー企業でルーヴル美術館など文化財のデジタル展示プロジェクトに関与。2008年からTOPPANにて、国内外の文化財を対象とするデジタルコンテンツのプロデュース/ディレクションを担当。失われた城郭の姿を再現したVR作品や、デジタルアーカイブを活用した文化財復旧支援、大型展覧会の展示空間など幅広いデジタル文化財のプロデュースを手掛けている。



<次頁に続きます>

進化する映像表現とその市場 ～高精細LEDの空間演出と光伝送の最前線～

■講義内容くつづき■

2)LEDディスプレイ市場の進化とイマーシブ体験の拡がり <セミナー約15分>

高精細LEDディスプレイがもつイマーシブな表現力が、今後どのような市場へ拡がりをみせるのか、最新トレンドを交えて紹介。

講師：松下 宗一朗氏

(ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部
B2B統合ビジネス推進部 マーケティングマネジャー)

2015年よりLEDディスプレイ、4Kプロジェクター、プロフェッショナルモニターなど小型から大型までのディスプレイの国内のプロダクトマーケティングを担当。現在は、その活用を広めるためにVirtual Productionのソリューション普及に向けたビジネス推進に従事。



3)高速大容量低遅延の光伝送についての取り組みと光通信技術動向 <セミナー約15分>

NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHIにおける高速大容量低遅延光伝送の取り組みと光通信技術の民主化が進み、通信キャリア事業者だけでなく様々な事業者が活用を進める中においてデータセンター事業者からみる技術動向と業界動向を紹介。

講師：樺澤 宏紀氏（株式会社ブロードバンドタワー

取締役執行役員 クラウド・ストレージ技術担当）

2007年よりブロードバンドタワーにて新たな事業としてデータセンターを中核としたクラウド事業やストレージ事業の立ち上げを行う。ケーブルテレビ事業を行うグループ会社においてはデータセンターやクラウドインフラ技術経験をもとに経営の支援に携わっている。



☆講座「1」の内容を「A」と「B」の2班（約20名ずつ）に分けて、プログラムを組ませていただきます。

詳細は受講案内をお送りする際にご連絡致します。

※受付後、追って事務局よりメールにて受付のお知らせをいたします。

（定員に達してお受けできなかった場合、その旨をご連絡致します）

※更に追って、当日のご案内をご連絡させていただきます。

※当連盟より「受け付けた」旨のメールが届いた後、指定の振込先へ参加費のお振込みをお願いします。